

日産財団ニュースレター (第45号)

2018年12月発行

はじめに

日産財団では、2017年度理科教育助成（助成期間2018.1.1~2019.12.31）の対象校・団体の1年目の活動状況を把握するための助成校・団体への訪問を実施しています。それぞれの学校・団体の実践内容を、日産財団ニュースレターで紹介していきます。

◆ 2017年度助成校・団体の活動紹介（2018年10-11月で訪問した7件）

神奈川県 大和市プログラミング教育推進委員会



市内小学5年生～中学生の17人が、3人ずつのチームを組んで、プログラミングを習得。ロボット車の基本動作（直進、右左折・等）のアイコンを組んで（写真左）、クランク型テストコースで命令と動作の関係を理解する。模造紙上の磁石コインを集めるタスクに、チームの知恵を結集して挑戦している（写真右）。

神奈川県 秦野市立東小学校



校内研究会の第3学年『かげのでき方と太陽の光』の単元を参観。前回までに、数時間ごとに影の軌跡を観察した記録を、iPadで撮影し、気づいた点をグループ内で話し合い、最後に影ができる方向は太陽の動きによって変化することを理解できるように進められた。また、校内に手作りの『わくわく理科コーナー』として、季節ごとの雲の写真や理科図鑑などの図書を設置している（右）。

神奈川県 横浜市立南本宿小学校



SDGsの視点を取り入れた総合的な学習の時間。第4学年では、介護福祉施設での体験をもとに、入居者の方々と無理なく一緒に楽しめる活動案について話し合っている（左）。第5学年では、前時の障がい者とのスポーツ交流を振り返り、次回に向けての改善点などを議論している（中央）。その後の授業研究会では、手立てのプラス点・マイナス点・改善提案などについて意見交換を行っている（右）。

福岡県 福岡市立笹丘小学校



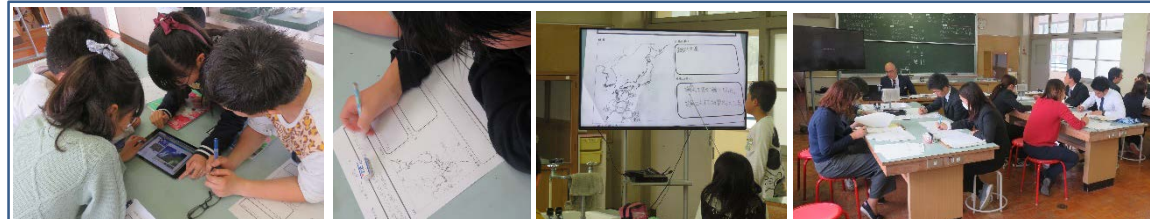
平成30年度サイエンスフェスタの様子。一部では市科学館とコラボしたサイエンスショーが、二部では市科学館や周辺の小中学校の教員と協働し、低学年・中学年・高学年に分かれたサイエンスフェスタが開催された。

福岡県 福岡市立香椎小学校



校内研修会における第5学年「ふりこの動き」の授業。学習してきた振り子の規則性を生かして、木材で手作りした斜面を転がる缶を振り子の玉で狙うゲーム。玉を缶に当てるために、変えた条件の内容と結果をホワイトボードに書き込みながら、グループで交流して実験を行っている。

福岡県 中間市立中間北小学校



第5学年「台風と天気の変化」の授業。児童たちはiPadに収められた台風やアメダスの写真を確認しながら、時間の経過に伴う台風の位置や降水量の変化などをワークシートに記載し、グループで話し合っている。授業後の協議会では、各学年に分かれて、本時の実践内容や今後のICTの使い道などについて意見交換が行われた。

福岡県 小郡市立三国中学校



市の研究発表会における第3学年「化学変化とイオン」の授業。プロペラを付けたモーターに銅板と亜鉛板を接続し、塩酸に浸すことで電気が発生する化学電池の化学変化とイオンの関係について、実験結果から考察している。まずは個々で考え、その後に意見をグループで共有しながら、正解を導き出している。